

# 埋文やまがた



2012年12月15日  
第49号



国宝『縄文の女神』  
山形県立博物館所蔵

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3246 山形県上山市中山壁屋敷5608 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：[yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)

# 平成24年度 山形県内の発掘調査

今年度は、農林水産省・国土交通省・県土整備部から委託を受け、13件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、4遺跡の報告書を刊行します。

## 発掘調査事業

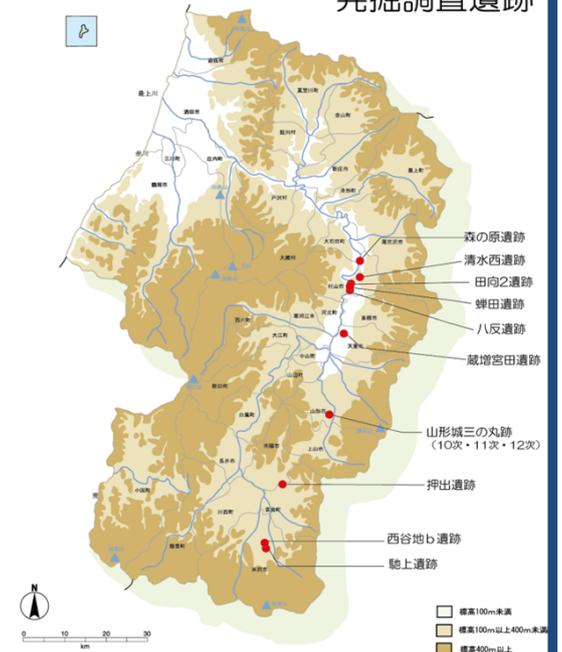
(10月31日現在)

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間	報告書の刊行
1	山形城三の丸跡10次	山形市	奈良・平安・中世・近世	城館跡	5月7日～7月27日	平成24年度
2	山形城三の丸跡11次	山形市	奈良・平安・中世・近世	城館跡	5月21日～11月30日	
3	山形城三の丸跡12次	山形市	奈良・平安・中世・近世	城館跡	5月28日～10月12日	平成25年度
4	蔵増宮田遺跡	天童市	古墳	集落跡	6月4日～10月16日	平成25年度
5	馳上遺跡4次	米沢市	古墳・奈良・平安・中世	集落跡	5月30日～11月16日	平成28年度
6	馳上遺跡5次	米沢市	古墳・奈良・平安・中世	集落跡	5月30日～11月16日	平成26年度
7	西谷地b遺跡3次	米沢市	奈良・平安	集落跡	5月30日～10月31日	平成26年度
8	森の原遺跡3次	村山市	縄文・平安	集落跡	7月2日～9月14日	平成25年度
9	押出遺跡5次	高畠町	縄文	集落跡	11月1日～12月20日	平成25年度
10	八反遺跡2次	東根市	縄文・平安	集落跡	5月14日～12月20日	平成27年度
11	蝉田遺跡	村山市	平安・近世	集落跡	5月22日～11月30日	平成27年度
12	田向2遺跡2次	村山市	奈良・平安	集落跡	5月23日～8月10日	平成26年度
13	清水西遺跡	村山市	旧石器・縄文	集落跡	5月23日～11月13日	平成26年度

## 整理作業

平成24年度 山形県埋蔵文化財センター  
発掘調査遺跡

No	遺跡名	市町村	業務内容
1	押出遺跡4次	高畠町	報告書作成
2	西谷地b遺跡1・2次	米沢市	報告書作成
3	沼袋遺跡	東根市	報告書作成
4	北原2遺跡1・2次	村山市	報告書作成・刊行
5	北原4遺跡	村山市	報告書作成・刊行
6	森の原遺跡1・2次	村山市	報告書作成
7	今宿大谷地遺跡	大石田町	報告書作成
8	稲荷山館跡3次	米沢市	報告書作成・刊行



特報!

# 秘宝館

## 祝国宝 縄文の女神

発掘当時の西ノ前遺跡



復元前の『縄文の女神』



左脚と腰部の出土状況



胸部の出土状況

今年9月、西ノ前遺跡出土の土偶が国宝に認定されました。表紙に登場している土偶です。縄文時代中期、およそ4500年ほど前のものと考えられます。

これは、今をさかのぼること20年前、舟形町は西ノ前遺跡の発掘現場から出土したものです。当時国道13号（現在の尾花沢新庄道路）の道路改修工事に伴う緊急発掘調査が、山形県教育委員会の手で進められており、その過程で発見されました。

土偶の多くがそうなのですが、あたかもわざと破壊され捨てられたような状況が見られ、この土偶も右脚・左脚・腰部・胸部・頭部の5つに分かれた状態で出土しています。後にお互いが接合することが確認され、現在の姿となったわけです。

愛称『縄文の女神』。身長約45センチ、完形の土偶としては国内最大。八頭身の見事なプロポーションはまさに国宝。見る人の心を引きつけてやみません。

# ふるさと考古学講座(1)

# 遺跡を掘ってみよう!

平成 24 年6月3日(日)



発掘の前に出土遺物のお勉強



よく見てごらん。土器片だよ。



どんなかけらも見逃しません。



横一列になって掘り進めます。



「こういう時は、ここから掘るといいよ。」  
「なるほど〜」



見て見て! こんなのが出たよ!!

今年の「遺跡を掘ってみよう!」は、東根の八反遺跡を会場に行われました。大勢の小さい考古学者たちが一斉に掘り進める姿は、まるで潮干狩りのよう? みんな土まみれになってがんばりました。



上山城外ではまが玉作りに挑戦。辺りを真っ白にしながら一心不乱に石をけずります。



上山城内ではアングインに挑戦。大昔の布を編んで、コースターを作ります。



この度のふるさと考古学講座は、上山市・上山城とのタイアップ企画として、上山城を会場に行われました。まが玉・アングイン編みのほか、弓矢体験や石器製作実演のコーナーも設けられ、皆さんに楽しく歴史を体験していただきました。

## ふるさと考古学講座(2)

# 古代のおしゃれ工房

平成24年8月12日(土)・13日(日)



石器製作実演のコーナー



弓矢体験のコーナー

# 歴史体験学習

ご好評をいただいている出前授業ですが、通常の学校向けの出前授業の他に、イベントのお手伝いや様々な生涯学習施設等に向向いて行う歴史体験学習も実施しています。今年行われたものの中からいくつかをご紹介します。

【8月8日(水)】  
蔵王みはらしの丘『はらっぱ館』  
縄文時代を体験しよう



センター職員によるはらっぱ館付近の遺跡の案内のあと、火起こしをしたりアンギン体験をしたりしました。縄文クッキーも焼いて食べましたが、お味の方は？ いまいちだったようです。

【7月31日(火)】  
鶴岡アートフォーラム  
夏休み縄文体験

鶴岡市出土の縄文の遺物を持ち込み、講話とまが玉作りを行いました。手を粉だらけにして、夢中でまが玉作りに取り組んでくれました。低学年の子供たちも、苦戦しながらも最後までがんばりました。



【9月9日(日)】  
朝日少年自然の家  
朝少まるごと縄文村



自然の家主催の宿泊体験学習の1コーナーを任せられ、講話と縄文クッキーを体験してもらいました。こちらの縄文クッキーは意外に評判が良かったようです。

# ようこそ 埋文センターへ

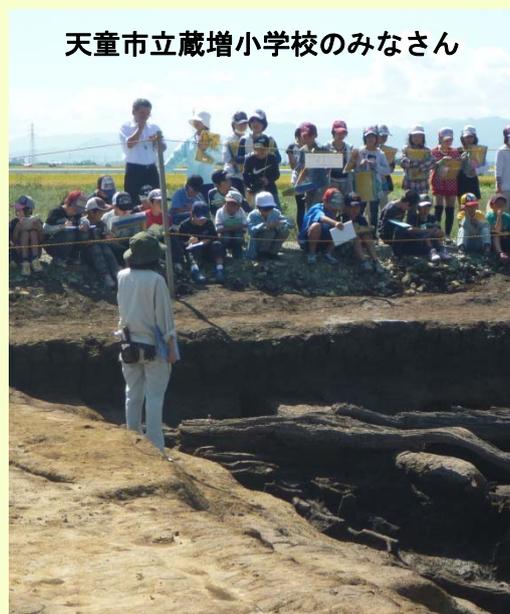
埋蔵文化財センターでは、センター内で行っている業務や発掘現場を公開しています。今年も社会教育活動や授業の一環として、あるいはセンターを利用した研修会等、数件の見学および利用の申し込みがありました。今年の発掘調査はほとんど終わりですが、申し込みは随時受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さい。



上山市宮生公民館女性学級  
『ほたるの会』のみなさん



山形南ロータリークラブのみなさん



天童市立蔵増小学校のみなさん

上記写真のほか、山形県立山形聾学校、上山市教育委員会初任者・10年経験者研修会、山形県立米沢興譲館高校、山形県地域史研究会、山形市立第七小学校、等のみなさま方に利用していただきました。ありがとうございました。



## 全国がかし祭り 入賞しました



センターでは毎年若手を中心にかかしを作成。今年も「ありがとう」をテーマにかかし祭りに参加しました。そして見事に入賞。『日本案山子研究会会長賞』をいただきました。このかかし、今後いろいろな場面で活躍してくれそうです。

前号 **考古学クイズ** の答え ③ 県内には5,000カ所以上の遺跡が確認されています。

# 埋文の愉しみ

専務理事 三浦秋夫

今年4月から当センターにお世話になることとなった。まったくの門外漢である。

9月に文化庁の主催で「発掘された日本列島2012」という全国巡回展を八戸の是川縄文館に見に行った。なぜ八戸かといえば、今年是我が「縄文の女神」の国宝指定があり、是非4つの国宝を見たいというのが本音であった(尖石の「縄文のビーナス」は、既に見ている。)

企画展を見ていると、ボランティアガイドの方から「朝一に来て一人で見ている客がいるという話を聞いたので、よろしければ案内したい」との申し出があった。「普通は1時間ほどで案内するが、お客さんの都合で短くすることもできます」とのことであったが、「時間はいくらでもあるので、よろしくお願ひしたい」旨申し上げた(結局、ガイドの古川さんの自家用車で記念碑、分館(泉山家跡地)まで案内していただき、合わせて3時間半掛かってしまった。)

最初に泉山兄弟の胸像(郷土の偉人の説明と受け止め)と縄文文様の説明(なかなか理解できない)を受け、展示室の案内となった。ところが、展示室に入り、ビックリした。すばらしい。泉山兄弟は、元々資産家だそうであるが、畑を耕して土器を発見し、これは先祖からの贈り物であるとし、農閑期の冬に農家の人の手間仕事として発掘したそうである。ほとんど完全な形での出土である(普通の人であれば完全な形でなければ発掘を続けられなかったのではないか)。それから膨大な量の漆器、しかもすべて本物の展示である。押出遺跡の漆器はレプリカの展示である。退色しないかとお聞きしたところ処理してありますから大丈夫ですと簡単に答えられてしまった。1つ1つの説明を受け、

あまりの博識に感嘆し、思わず妻が疑問としている尖石の「仮面の女神」は女性かという質問をしてしまった。妻はあの尻の形は女性ではないと主張するのである。古川さんは、図鑑を示し、その通りです、前面には女性のシンボルと思われるものがあるのですが、背面のこの「ポチ」2つは男性のシンボルではないでしょうか。さらに「合掌土偶」は、出産時の様子ではないか。指が6本に見えませんか。1本は綱だと考えます。北欧の出産風景と同じです。よく見ると女性のシンボルがはっきり表現されています。

縄文の女神国宝指定記念の企画店を見に博物館に行ったとき、妻はこんなに博物館が良いところだったなら何でこれまで連れてきてくれなかったのかと文句を言いました。県立博物館は本来はすばらしいのです。ただなかなか馴染めない、窮屈に思われてしまうのではないか。ボランティアガイドの人に説明をお願いしてはどうか。話を聞いてとても楽しい、かつ、説明したがっている人が多い。1人でも遠慮せずに頼めば良いと思う。

私たちは発掘調査後現場で説明会を行う。現場の状況を見ることができるのはこの機会のみである。後は埋められてしまう。是非来てほしい。職員に言わせると、現場に立つと当時の住民の生活風景が目に見えて来るそうである。それから12月16日村山市甕葉プラザで速報会を開催します。是非来て下さい。

最後に、今年4月から財団法人に「公益」を冠することとなった。今一度「私たちはこの道のプロである」ことを心に銘記すべきであると思う。今後とも皆様方のご支援をお願いしたい。

## 「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。  
電話023(672)5301(代表)

## 編集後記

4月に答申が出されてから半年、ようやく正式に国宝指定された「縄文の女神」を表紙にしてみました。今年には本当に出番が多くて、売れっ子アイドル並みの人気でした。  
おつかれさま!